



## 「出逢い」「感動」「仲間づくり」……そして「絆」

学校長 池 邊 貴 康



4月6日、久しぶりに学校には元気な子どもたちの声が帰ってきました。校内に明るい光が差し込み、あらゆるものが息を吹き返したような、そんな感覚を持ちました。不思議なものです。やはり学校は、子どもあつての学校ですね。花壇の花々は色鮮やかに咲き誇り、桜の花もこの日に合わせたかのように満開に……。自然界はコロナウイルスのことも忘れたかのように生き生きと春の輝きを放っています。

そんな中、新学期初日ならではのいくつもの出逢いがありました。クラス替え、友だちとの出逢い……。新任式、転入した先生との出逢い……。そして始業式、新しい担任との出逢い……。特に、担任発表には様々なドラマが見られます。「〇年〇組の担任は〇〇先生です。」という校長の声に反応する一人一人の姿・表情は十人十色です。拍手をする子、ガッツポーズをする子、不安そうにじっと見つめている子、「ええっ」と声に出してしまう子……。いずれにしてもこれが『出逢い』であることはまちがいありません。人間関係は、この出逢い頭から生まれるものです。「出逢い」によって何かしらの感動（ある物事から強い印象を受けて心を動かされること）があったのも事実です。



「人生にはムダな出逢いなんてない。」とよく言われます。裏返せばどんな出逢いでも、結果必ず、自分にとってはプラスになるということです。私の大好きな相田みつをさんは、こう言います。

**人を動かし人を変えてゆくものは、難しい理論や理屈じゃないんだな。  
感動が人を動かし、出逢いが人間を変えてゆくんだな。よき出逢いを。**



一つ一つの出逢いを良きものにしようとするれば、その出逢いから何かが生まれ、自分の中の隠れた部分が引き出される。そう思いたいものです。

少なくとも私たち教師は、子どものよさを一つでも引き出せる、出逢えて良かった教師の一人となるように努力せねばなりません。

さらに、子どもどうしが出逢い、子どもと教師が出逢うと同時に、教師と保護者の出逢い、あるいは保護者どうしの出逢いが待っています。子どもを育てる（教育効果をあげる）には、これらの絆を深める努力も必要です。子どもを通じたこの出逢いに感謝し、お互いに歩み寄り、子どもも親も教師も仲間づくりから始めましょう。本年度も御協力のほどよろしくお願いいたします。

## 📢 子どもたちのためにどうすべきか！

新型コロナウイルス対応への御理解と御協力を！

「学級PTAをどうするか。役員決めは」等について、5日夜、何時間もかけて、役員さんと学校側の熟議がなされました。実施？・中止？と様々な意見が飛び交う中、いずれにしても共通するのは、「子どもたちのためにどうすべきか。」という役員さんたちの「子どもたちへの思い」でありました。コロナウイルス感染防止対応のために様々なイベントや会合が制限・短縮・中止となる流れの世の中ですが、安易に実施・中止を決定するのではなく、「子どもたちのために」と熱心な話し合いがなされているのです。まだまだ先の見えない厳しい状況があります。今後も学校行事やPTA行事等、実施・制限・自粛・中止等の判断を迫られることになるかと思えます。今しばらくは状況を把握しながら、慎重かつ真剣に協議して柔軟に対応してまいります。その判断基準は「子どもたちのために」であります。保護者の皆様、地域の皆様にはどうぞ御理解と御協力のほどをよろしくお願いいたします。

学校では、密閉・密集・密接の機会をできる限り回避し、手洗い・うがい・換気・消毒その他感染防止に取り組んで参ります。各御家庭でも、「子どもたちのために」毎朝の検温、マスク着用、十分な睡眠と栄養、休みの日の過ごし方（人混みを避ける）等、健康面への配慮に万全を尽くしてくださいませようよろしくお願いいたします。とにかく、事態終熄を祈るばかりです。（文責：池邊）



